

東雲だより2020

インフルエンザの流行は、
毎年、大寒（1/20～2/3）の頃です。
ご注意ください。



- ① 12月研修会および見学会報告
- ② 「HAT施工付商品の施工体制と補償体制」特集
- ③ 荒尾先生寄稿「ハザードマップ」
- ④ ラボ紹介「AGC STUDIO」

*みらいエコリフォームセンターは、東雲研修センターに名称が
変わりました



便器設置研修の研修台を
改修しました。すべて
リモデル用の排水芯可変
タイプ便器としています

12月研修および見学報告



エアコン施工研修



便器設置研修



柳川高校様見学会



フジコー様社員研修

12月研修会、見学会の実績をご報告します

- 12/6 諏訪市役所様SFA実演見学会
- 12/10 TOTOリモデル相談室研修計画
- 12/12 インストール研修/エアコン施工
- 12/16 柳川高校様東雲見学会
- 12/17 インストール研修/配管接続
- 12/17 クリナップ様東雲見学会
- 12/18 フジコー様社員研修
- 12/20 ミツワ電機様東雲見学会

「 HAT施工付商品の施工体制と補償体制 」

橋本総業株式会社は、商品本部のもと、施工情報システムの運用や仕入先メーカーと連携した高い品質の施工を提供しています。またHAT施工協力店会活動により、メーカーを交えた情報交換会や定期的な研修を行っております。そして、お客様の施工上のリスク管理の為、万全な補償体制を整備しております。

施工情報システム

施工協力店会が施工する物件ごとに、すべてHAT内のシステムに情報が蓄積され保管されております。商品情報（品番、仕様、図面）、施工物件情報（現場名、戸数、納入場所、施主名、建築会社名、設備店名、販売店様名）、施工条件（セールスとの約定等）。システムには、**メモ**や**写真**が貼り付けられますので、**職人の施工精度のチェック**や**アフターメンテ**、履歴情報としての活用も可能です。

施工協力店会

2006年に現在の体制をつくり、日々研鑽と拡大（全国化）を続けております。施工協力店会は現在、北海道から九州に至る40店が入会しており、金額ベースでは、すべての施工店（メーカー施工除く）の80%を占めています。会員は、メーカーの組立者認定制度加入、誓約書提出、施工情報システムの運用、会費の納付、総会・研修会参加が条件となっています。

施工店会活動

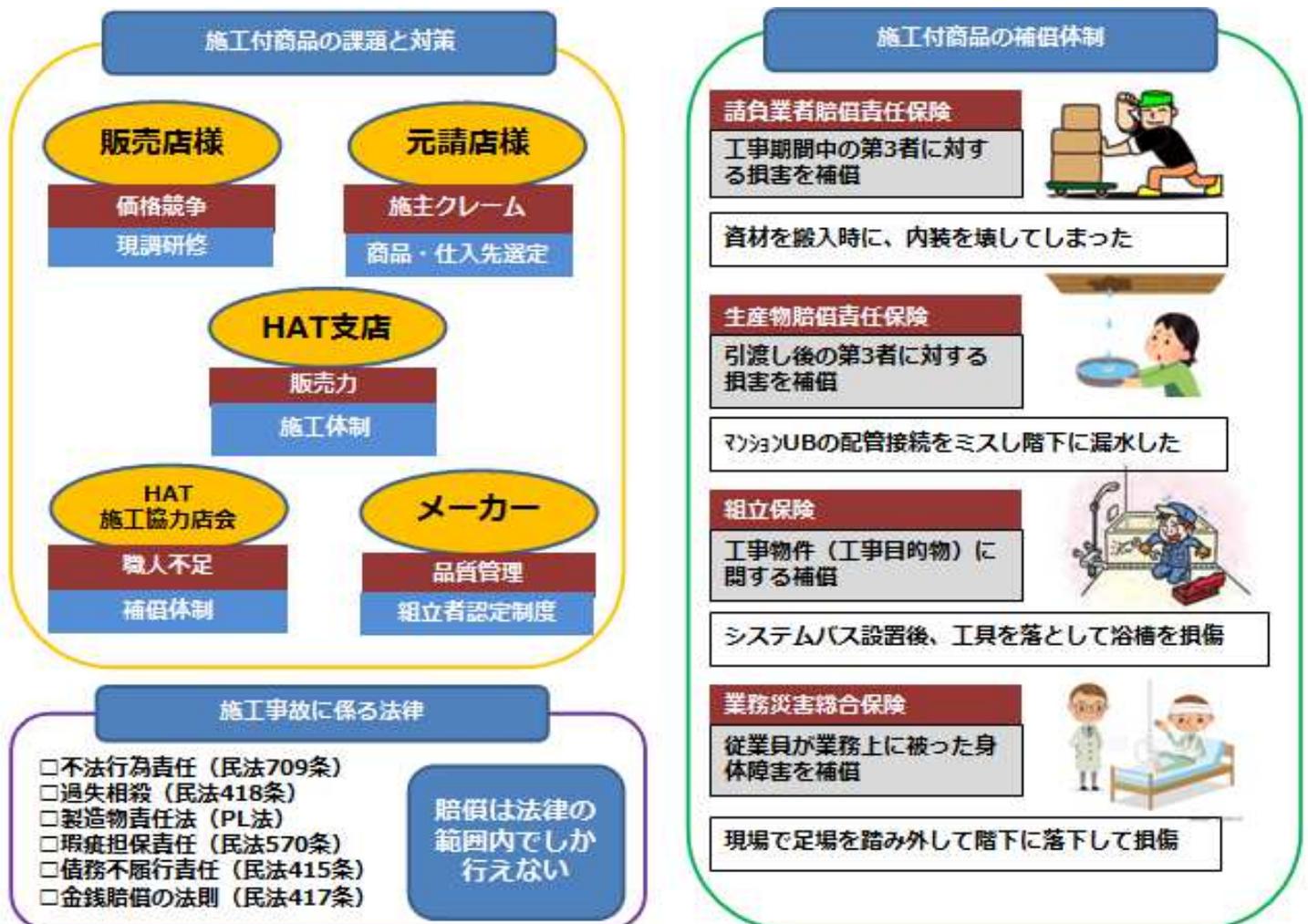
施工店会活動は、大きくは研修、情報交換、リスク管理に分けられます。

- ①**研修**は、企業としてのビジネス研修、リフォームや省エネルギー技能研修、メーカー別**施工技術研修**、新人研修
- ②**情報交換**は、メーカー**製造部との意見交換会**（TOTOは毎年）、**総会・月例会**での研修・懇親会、みらい市出展
最近では、施工店同士で地域を横断した物件での請負のやり取りも行われています。
- ③**リスク管理**としては、社長の健康問題、従業員確保の問題、**クレーム処理の問題**、契約上の問題につき、施工店会事務局が専任業務として相談に乗っています。

補償制度

補償制度の対象は、物損、対人事故に対する損害賠償、工事目的物（建物、商品）の補償、従業員の業務上疾病です。

- ①**請負業者賠償責任保険**・・・工事期間中の第3者に対する損害を補償
- ②**生産物賠償責任保険**・・・引渡し後の第3者に対する損害を補償
- ③**組立保険**・・・工事物件に関する補償
- ④**業務災害総合保険**・・・従業員が業務中に被った身体障害



「ハザードマップ」

一級建築士 荒尾 博

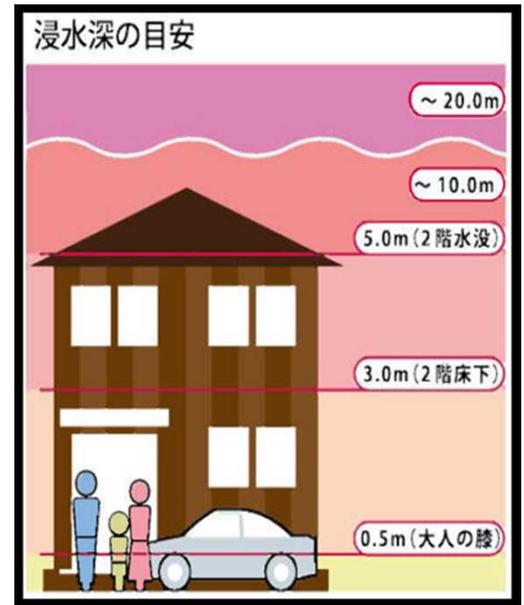
武蔵小杉といえば、昔は工業地帯+住宅のイメージでしたが、昨今は高級超高層マンション群の街のイメージでした。しかし、昨年の台風での浸水で一気にイメージが変わった感もあります。

* 建築は防火と耐震で浸水対策は……

なぜ、あの超高層が冠水で麻痺したのか？多くの方が疑問に持ったのだと思います。川岸の都市ですから洪水の可能性はありました。この点で、対策を怠ったのかについて、裁判も含めて大きな問題になると思います。



画1 武蔵小杉のハザードマップ



画2 目安

そこで、武蔵小杉のハザードマップを見てみましょう。画1のようにハザードマップで浸水の可能性はすっぽり包まれていたのです。枠内の部分は5m以上、その他も3mの浸水が予想されていたのです。つまり、この地域ではどこに建物を建てても3mの浸水対策が必要だったのです。

予想では画2で判るように3mでは木造住宅の1階部分はほぼ浸水してしまいます。マンションの場合でも1階の階高はやや高いとは言え、1階の半分くらいの高さまで可能性があったのです。

しかし、対策が講じられていない超高層マンションが多くあったのです。これだけのマンションを手がけるのに対策されていなかった？…のは不思議です。しかし、建築関連法の観点から見てみると都市の地下街や地下鉄は別として、対策規制ははっきりしません。それは建築関連法の歴史を見ると判るのですが、大正時代以前の寒竹関連法と言えば有名な大岡越前の御法度でも防火対策だけと言っても過言ではありません。

大正時代に初めて建築に関する法体系が出来ましたが、その内容も大都市だけに施行された法で、当初は防火だけの規制で、対審が加味されたただけでした。(大正時代に耐震対策法が施行されたことは世界に先駆けた画期的だった。)

戦後の基準法でもやはり防火と耐震が中心で、その流れは現在でも都市計画区域外の木造小住宅は建築確認申請が不要なのです。

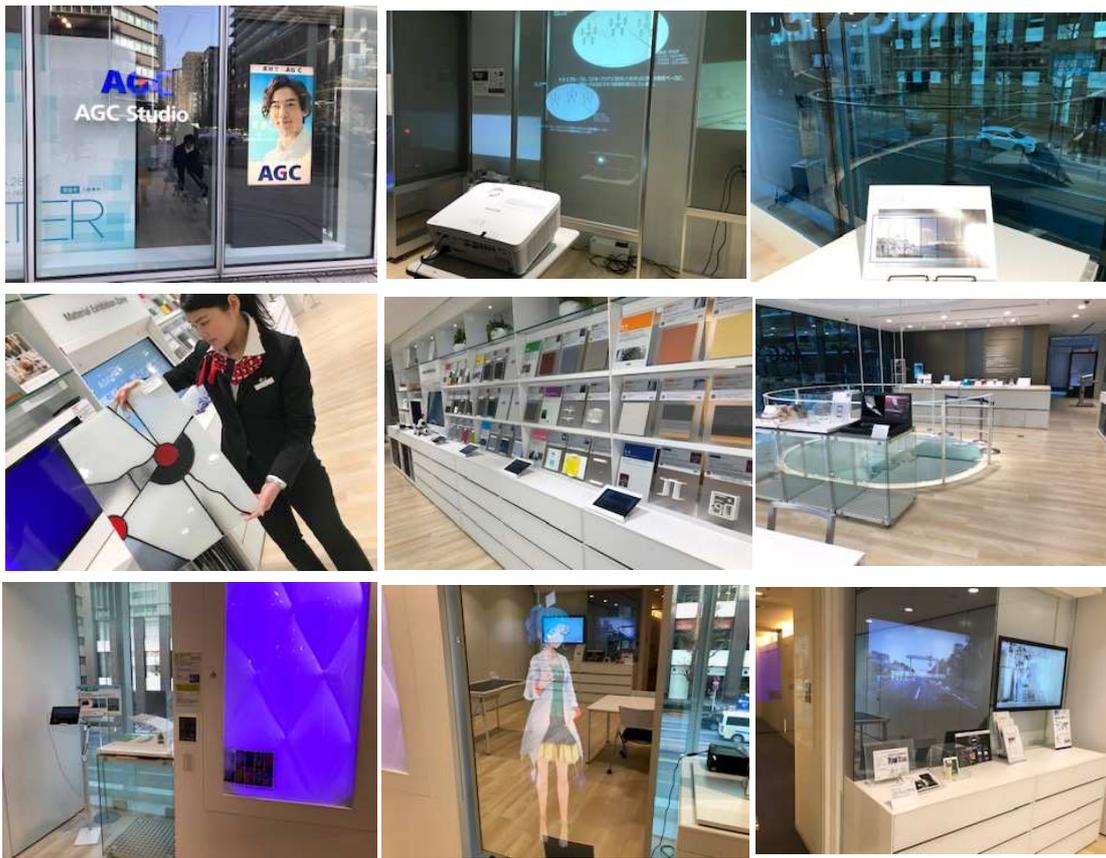
ということは洪水による対策は避けられないと考えていた可能性と浸水しても地震や火災と違って水が引き乾燥すれば建物の構造躯体は大丈夫と考えられなくもないからでしょうか？

しかし、昔の建物は設備機器は殆ど無く乾いてから汚れを落とせば再利用可能？ だったのですが超高層マンションでは、電気やエレベータなど多くの設備機器が1階や地下に設置されているので、単純な浸水対策は必要ないと言っても、建築の目的を確保維持するためには、法ではなく、独自に対策を講じていなかったことが問題になるのだと思います。

今回は、銀座京橋の交差点にあるショールーム「AGC STUDIO」に行ってきました。現在1階は改装中でしたので2階だけの紹介になります。

「AGC STUDIO」では、建築用ガラスだけでなく、街づくり・空間づくりに貢献する幅広い製品を紹介しています。ガラスをスクリーンがわりにプロジェクターで映像を見せたり、テーブルがパソコンの画面になったりします。また、窓ガラスが外からの光を自由自在に制限することができたのには驚きました。工業製品でスタンドグラス風の商品が開発されています。デザインも素敵で、これは自宅に使おうと思いました。

住所 中央区京橋2-5-18
京橋創生館1階, 2階
開館 10時~18時
休館 日曜日、月曜日、祝日
電話 03-5524-5511



東雲だより1月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — ふきのとう —

春の訪れを告げる山菜「ふきのとう」を庭で見つけました。「春の使者」と呼ばれている食材なので、本来なら雪解けが始まる頃に出て来るはず。去年はもう少し遅い時期にお目見えしたと思うので、やっぱり今年は暖冬の影響かな？

ふきのとう、私は大好きなんですけど、苦味が苦手の方もいらっしゃるかと思います。が！ふきのとうのあの苦味には素晴らしい力が秘められているんですって！「冬眠から目覚めた熊が最初に口にして身体を活性化させる」、と言われるほどふきのとうの苦みや香り成分には新陳代謝を活発にする働きがあるそうなんです。特に苦み成分は咳止めや花粉症予防に効果があり、香り成分は消化液の分泌を促進させて胃を丈夫にして、腸のはたらきを整えてくれるんだそう。その上、ミネラルやビタミンの含有量が多いので、女性には嬉しいデトックス効果も！旬のものを味わうことで季節を感じるなんてそれだけでもありがたいのに、健康にも一役買ってくれるとなれば、毎週庭をチェックしなくちゃ！



庭で見つけたふきのとう

旬の山菜は天ぷらが一番！と思っていたけど、ふきのとう味噌のレシピがネットで調べるとたくさん出て来るので、今年はそっちにも挑戦してみようかな♪
美味しいお米&ふきのとう味噌で焼きおにぎりを作って、家族に一足早い春をお裾分けしよう☆

佐藤深雪

橋本総業

東雲研修センター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月~金9:00~17:00 土: 応相談

●お問い合わせは
TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

お問い合わせは

お奨めの駐車場
タイムズ・オートボックスTOKYO BAY東雲駐車場
東京都江東区東雲2-7 +350台収容+24時間入庫可+20分100円+最大1400円

